



公益社団法人

日本語教育学会

2018 年度支部活動【四国支部】開催報告

主催：公益社団法人日本語教育学会

共催：四国大学

後援：公益財団法人徳島県国際交流協会

開催日：2018年9月8日(土)11:00~16:00

会場：四国大学交流プラザ5階フォーラムホール

参加者：68名(会員19名・一般49名)

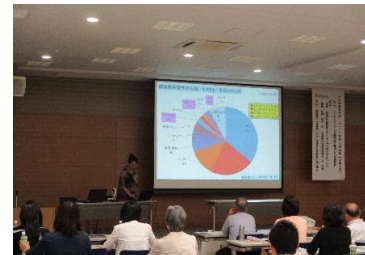
四国支部での支部活動が、2018年9月8日(土)に、四国大学交流プラザ5階フォーラムホールで開催されました。雨が降りしきる中ではありましたが、徳島県内だけでなく、四国内外からも多くの方々にご参加くださいました。



【第一部】ワークショップ



【第二部】講演



【第三部】実践報告

本支部活動は、徳島県内での様々な日本語教育の取り組みについて、参加者の皆様と情報共有・意見交換を行う場としました。まず【第一部】では「介護福祉士養成と日本語教育」と題したワークショップが行われました。介護福祉士養成課程で学ぶ留学生のつまづきの原因を推測したり、介護福祉士としての言葉かけができるために必要な日本語力を考えたり、といったグループワークの後、介護福祉教育と日本語教育の協働による授業実践が報告されました。続く【第二部】では、西原鈴子氏(前国際交流基金国際センター長)が「地域日本語教育スタートアッププログラムについて」というテーマでご講演くださいました。西原氏は、文化庁の地域日本語教育スタートアッププログラムに取り組んでいる徳島県美波町・つるぎ町のシニアアドバイザーを務めていらっしゃいます。スタートアップ事業の背景となる日本社会の課題や外国人政策等について、とても分かりやすくご解説くださいました。最後の【第三部】では、「徳島県における地域日本語教育の取り組みについて」というテーマで、様々な実践報告が行われました。つるぎ町・美波町の各コーディネーターからは、それぞれの地域日本語教育スタートアッププログラムの取り組みが、公益財団法人徳島県国際交流協会からは、県内各地で実施されている日本語教室や日本語ボランティア養成講座などの取り組みが、JTM とくしま日本語ネットワークからは、にほんご寺子屋や小中学校での取り出し授業(県市町村教育委員会事業)など、外国にルーツを持つ子どもたちへの支援の取り組みが、それぞれ紹介されました。

徳島県では、大学・行政・市民グループなどが、それぞれ試行錯誤を繰り返し、工夫を重ね、互いに協力し合いながら、日々、日本語学習者への支援を行っています。今後は、会場の皆様からいただいたご意見やご提言を踏まえ、ますます協力体制を深めていきたいと考えております。本支部活動にご参加くださった皆様、また、本支部活動開催に当たり、多大なるお力添えをくださったすべての皆様に、心より御礼申し上げます。

(報告者：支部活動運営協力員 田中大輝)